

9月25日(水)12:00からCRTスタジオで収録

「虎に翼」をきっかけに「法学入門」「法学概論」にチャレンジしよう

ー「法学入門」「日本国憲法」の学び方を考えるー

開倫塾

塾長 林明夫

Q：女性初の裁判所長を務めた三淵嘉子さんをモデルにした、NHK朝の連続TVドラマ「虎に翼」が大好評のうちに、昨日終了したようですね。

A：私は、大学時代から法律学を学び続けている一人として、この番組は、法学部の大学生はじめ、多くの市民が「法律学」や「日本国憲法」を学ぶときにとても参考になる素晴らしい番組と考えます。よく考えられた内容で、法律を初めて学ぶ人が「法学入門」「法学概論」を学ぶときにも参考になる番組であると感心し、感激し続けながら、毎回も見ておりました

Q：大学はじめ、様々なところで学生や市民が初めて法律を学ぶのが、「法学入門」「法学概論」なのですか。

A：(1)その通りです。多くの大学では、大学1年次の1学期に、90分の授業15回で法学入門を学びます。熱心な大学では、2学期に「法学入門(Ⅱ)」をさらに15回学ばせ、法学・法律学の基本、「法律的な考え方」を身に付けさせます



(2)「法学入門」「法学概論」は、「法」とは何か、「法律とは何か」からスタート

①例えば、「法」と「道徳」はどう違うのか

②「人を殺すことはなぜよくないのか」、「なぜ人を殺すと処罰されるのか」

③人を殺した場合にはどのようなことになるのか。どのような手続きで「逮捕」「起訴」「裁判」が進み、「判決」が下されるのか、議論されます

○刑法の199条には「人を殺したる者は死刑・無期若しくは5年以上の懲役に処する」という規定があります

④「尊属(自分の親や祖父や祖母を尊属といいます)殺人」の場合、以前は、刑法200条で、死刑と無期しか刑罰がありませんでした。しかし、これは憲法14条の「法の下での平等」に反することとして、「憲法違反」の最高裁判決が出ました。その結果、刑法200条の尊属殺人の規定は「無効」となりました。現在の刑法には「刑法200条削除」としか掲載されていません

⑤これは有名な判決なので多くの「法学入門」の教科書には掲載されています

(3)①また、番組では戦後の「民法改正」の様子がかなり詳細に取り上げられていました。

②「民法出でて忠孝亡ぶ」と批判されたくらい、戦後の「民法改正」は憲法14条の「法の下での平等」と、憲法24条「男女平等」の規定に即した改定で、画期的なものでした

③「家庭裁判所」の創設や、「少年法」の整備も新憲法に沿うもので、「法学入門」や「法学概論」で、取り上げられます

(4)①「虎に翼」で画期的だったのは、「法律家」「裁判官、検察官、弁護士」などの法曹(ほうそう)がどのように育っていくのかが取り上げられたことです。法学部や法科大学院(ロースクール)などで法律を学び、司法試験に合格、司法修習を経て、裁判官や検察官に任用され、また、弁護士となるのか。法律家の育成の手順・プロセスが、わかりやすく取り上げられました

②特に、裁判所には家庭裁判所があること、裁判所の頂点には最高裁判所があり、憲法 76 条の「司法権の独立」の精神を体現するために、家庭裁判所を含め、すべての裁判所の人事権を持つこと、裁判所には「書記官」がいて、「公正な裁判」、手続きの実現のために、日夜、活躍し続けることがよくわかりました



③主人公が新潟地裁の支部長の時に「裁判所書記官」が「警察官」とともに、「裁判官」である主人公の自宅に、深夜、「逮捕令状」の発行を求めに来る場面など、日本では「公正な刑事手続」を実現する取り組みがコツコツと行われていることがよくわかりました

(5)①主人公のモデルであった三淵嘉子裁判官が東京地方裁判所で担当した「米国による原子爆弾投下の国際法違反」の判決を NHK の朝ドラで取り上げたことは、画期的です

②今まで学校の教科書、中学・高校の歴史の教科書や、大学の「法学入門」「法学概論」ですら取り上げられたことがなかったからです

③終戦記念日の週にあえて NHK が取り上げたことは画期的でした

Q：最後に一言どうぞ

A：(1)この番組により、日本国憲法や民法、少年法などの法律に親しみ、身近な問題を、あるべき法、法律の目を通して、また、憲法の目を通して見ることの大切さを実感できた方が多いと思います。



(2)①もし、日本国憲法や民法や少年法など法律に興味をわいてこれたら、是非、「法学入門」や「法学概論」、「日本国憲法」という名前の本を図書館や書店で探し、自分のこととしてお読みください

②又、きちんと体系立った勉強がしたければ、まずは、大学法学部の聴講生となり勉強なさることをおすすめします。栃木県には JR 小山駅前に「白鷗大学法学部」がありますので、ご相談ください。人生は長いですから、単位聴講生としてまずは少しずつ学び、白鷗大学法学部に本科生に社会人入学をなさることをおすすめします

③世界一のオンライン大学、「放送大学」にも、「法学入門」「法学概論」「日本国憲法」の講座がありますので、是非ご聴講ください。テキストも販売されています

(3)①中学生、高校生も「法学入門」「日本国憲法」の基本は学んでいます

②高校「政治経済」、中学「公民」の3分の1は、「法学入門」「日本国憲法」のお話だからです。社会人も中学・高校の「公民」、政治経済の「教科書」「参考書」で勉強が可能です。大いにご活用ください



(4)①「日本国憲法の条文」だけは手元におき、条文が出てくるごとに「声を出して読む」ことをおすすめします

②「日本国憲法」はじめ「民法」や「少年法」など法律の本を読んだり、法律を学ぶときは必ず、条文の載った本、できれば、小型版でも OK ですから「六法全書」を用意してください

③条文が出てきたら六法全書や教科書の付録として載っているその法律の条文を捜し、声を出して読んでみる。そして、「ノート」にその条文を書き写すことをおすすめします

③法律も「習うより慣れろ」です

④声を出して条文を読んだり、書き写していく間に少しずつ親しみがわいてきます

○チャレンジを！